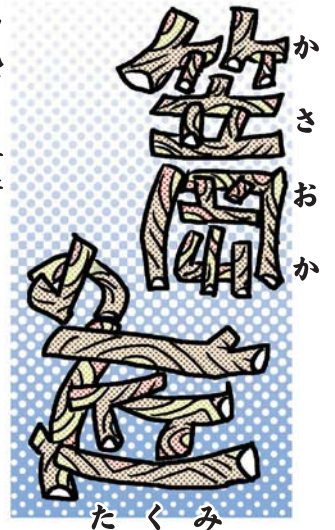




第九回 奇術
ミスター・サンロック
岩村高雄さん（神島）



腕に確かな技術を持つ人がいる。その腕で作られるものが人々を魅了する。このコーナーでは、そんなキラリと光る技を持つ「匠」たちを紹介します。

「観客の皆さんの喜ぶ顔が見たいから」と、昭和54年以來28年間続けてきた奇術のステージは、現在なんと731回を数えるというMrサンロックこと岩村さん。長年のキャリアで培ってこられた妙技は、子どもから高齢者まで多くの人々を魅了してやみません。岡山県の交通安全教育講師を務められていることから、交通安全をテーマにしたレパートリーも数多く、ステイジ衣装を身に纏うと、軽快な音楽に乗せて赤・黄・青の信号機の色を巧みに操り、年齢を感じさせないステップと、中学校の教職で磨き上げた話術で、見る人を魅了させながら交通安全の遵守とマナーの向上を呼びかけられています。

部屋を埋め尽くす程の小道具と、煌びやかな衣装が並ぶご自宅で、「『子どもに夢をお年寄りにほほ笑みを』をモットーに、1000回目のステージを目指し、元気に続けていきます。」と笑顔で語ってくださいました。

展覧会と行事のご案内

竹喬美術館
ベストコレクション
第2期〈小野竹喬と国画
創作協会の作家達〉
会期中～10月1日(日)

竹喬美術館友の会
会員募集

友の会の新規会員を募集します。入館料の割引のほか、講座や研修旅行なども。詳しくは竹喬美術館まで。

〒714-0087
笠岡市六番町1-17
☎63-3967
ホームページ
<http://www.city.kasaoka.okayama.jp/0013/0001.html>

「この頃の床では、酒場や料亭なども増してきて、中には赤いちょうちんなどをはなやかに飾りたてるようになった。私はかつての、奥ゆかしい風趣を思い出しながら、西木屋町あたりの鴨漕の・・・静かな床の夜景を選んだ」
(竹喬のことば)

橋上を行く車のテールランプやところどころの街あかり、暮れた空にかすかにビルが立ち並んでいるのも見える。このスケッチに川床は描かれていないが、十四歳から暮らした京都の町に、竹喬は特別な思いを持っていたに違いない。



鴨川夜景

小野竹喬 作
昭和47(1972)年頃
26.3×37.2cm

竹喬美術館の光彩 45

今月の表紙

8月20日、真夏の太陽の下「大空と大地のひまわりカーニバル」が開催されました。アクロバット機、ヘリコプターによるエアショーやラジコンフライトショーなどが行われ、会場に訪れた約三万人の観客は、間近で見える実機に大興奮していました。また、当日は「子ども航空機教室」も行われ、作った飛行機をみんな楽しそうに飛行させていました。

みんな夏休みの最後に素敵な思い出が出来たね。

係から

ひととき暑さが厳しかった今年の夏。笠岡市では、3人の選手が全国大会優勝の栄冠に輝かれました。おめでとうございませう。そして、いよいよスポーツの秋です。9月30日には、兵庫県で「のびく国体」も開幕します。

笠岡市を訪れた選手の皆さんも驚かれていた、民泊協力会によるあの熱狂的な応援風景が、今でも鮮やかに思い出されます。

選手との再会、そして観戦や応援を、家族とともに心待ちにしています。

(中)



中野素嗣

土屋武之

発行日／平成18年9月1日
発行／笠岡市役所
編集／企画政策課
〒714-8601 笠岡市中央町1-1
☎69-2110

印刷／(株)国輝堂 ☎67-5111

笠岡市ホームページ：<http://www.city.kasaoka.okayama.jp>
メールアドレス：kouhou@city.kasaoka.okayama.jp



※この広報は再生紙を使用し地球環境にやさしい植物性大豆インキで印刷しています。

R100 古紙配合率100%の再生紙を使用しています